



市郎社長と四代にわたる社史の中に苦難の足跡を踏しつ初一念を貫くに至る努力が續けられ、茲に晴れの開通祝賀式を

# 江名鐵道開通特集号

## 風景絶佳の江名鐵道 盛大な開通祝賀式

### 官民二百五十余名を招待

昭和二十三年三月着工以來実に五年の歳月と一億八千万の巨費を投じた渡通り開通の大動脈江名鐵道は遂に完成、十一日特等の開通祝賀式が舉行される

江名鐵道は地方産業開發の熱意に燃えた大清水エ門氏社長のもとに先ず發常磐炭礦の出資増額、江名町漁業協同組合樓上足、奈佐々三、黒川喜名町一般町民漁業家たちで石井進運輸大臣代理の涙ぐましい協力の功は田鐵道監督局長代理等を見逃し難く、一方山田組酒井組、富士電氣等風雪の寒氣、炎熱の酷暑に耐えた担当者達の積極的な努力

### 洋上に見る風趣

#### 沿線一帯の試乗點描

この日先ず招待者は明粧を浜に連れ小憩の後、された臨港鉄道「ゼル」小名浜江名間五、六軒のカーニバル分乗車から小



寫眞は江名駅の全景であるが背面に老松寫を添えし松林ありて風景頗る絶佳である……

新設の江名駅やよし一人降りてしづごころなく松林に入る

草二郎

線一帯は稀に見る風光明媚の景勝地が多く、下神白瀧附近松林を車窓にして目前に永崎海岸が展開し海浜に平行して波打ち際を快走する一軒間は東北沿線随一の車窓から見る景勝地となるであろうその中間に永崎駅があり停車中の旅客はすく窓下から渺々と展ける太平洋の偉容に接し遙か彼方の水平線に旅の疲れを完全に忘れるだろう

### 開通式を迎える

#### 水産江名の沿革

漁獲物水揚高、長崎市に次いで全国第二位と水産福島の名を全国に馳せた江名町は、はたまた江名鐵道の開通に及んでその飛躍的發展は今や脚光を浴びてクロイソアツアツされるに至つたが、この江名町の沿革をかえりみるに、今より千三百年の昔に、歴年間常陸の豪族江名の藏人宇隆がこの地に土着したことに始まつて、後、磐城一統の領主磐城氏の領地となつたが、慶長八年(一六〇三)徳川家康征夷大將軍となり江戸に幕府を開くと、内膳左馬助政長が代つて管治した。爾來徳川幕府小名浜代官所、平瀬領及び湯長谷藩領等の支配に属し、維新後は、江名は湯長

### 初代江名駅長に宮内氏

#### 長に宮内氏

江名鐵道の明窟な山あいの江名駅初代駅長には臨港鐵道宮内忠吾氏が任命された。宮内氏は日本水素の全貨物入出を一手に扱う宮内氏として、その手配力量は自他共に許すところであり水産都市江名の全園向け出荷と一五五千町民の足を一手に掌握し、今後更に東に伸びんとする江名鐵道江名駅の初代駅長として期待されるところは大きい。

## 祝 江名鐵道開通 1月11日

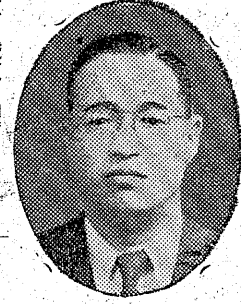
<b>江名鐵道株式會社</b> 取締役社長 石原幹市郎 専務取締役 金成徳治 福島縣江名町風越 電話433番		江名町役場 町長 中田佑一郎 助役 伊藤正吉 収入役 吉田政吉	江名町議會議員 議長 遠藤勝馬 副議長 加澤喜三郎 外議員 一岡
-----------------------------------------------------------------	--	------------------------------------------	-------------------------------------------

<b>中之作機船底曳網</b> 漁業協同組合 組合長 吉田義	<b>江名港修築事務所</b> 所長 大關清治	<b>江名町漁業協同組合</b> 組合長 黒川喜一郎	<b>江名町金融團</b> 株式會社 常陽銀行江名支店 支店長 有田泰三 株式會社 七十七銀行江名支店 支店長 泉正三郎 株式會社 東邦銀行江名支店 支店長 佐川忠太郎	縣會議員 土木常任副委員長 <b>小野義一</b>	<b>小名浜臨港鐵道株式會社</b> 取締役社長 浦田文二郎 常務取締役 眞木弘 總務部長 小野信一
--------------------------------------	----------------------------	-------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------	-------------------------------------------------------------

# 私鐵の認識提唱と

## 江名鉄道完成の祝辭

臨港鐵道社長 浦田文二郎



はならない刻苦 忍の經營が必要である許りで無く地元民は當分の鐵道の育成に親身の努力熱意が望ましいのである

此處で私は次の二点を強調して当地有識者に訴ふる

一つには地方民の私鐵事業に對する深き理解、二つには産業都市の完成の爲に具體的施策の實行と運動の必要である

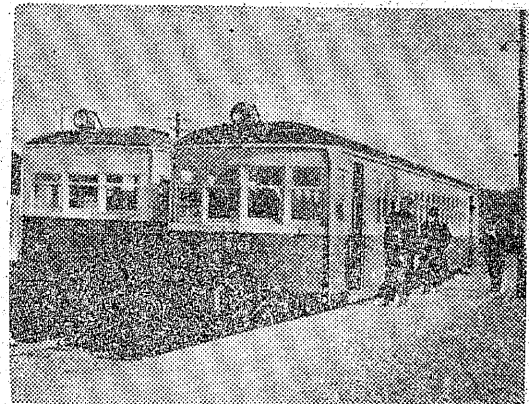
私鐵は國有鐵道と異つて何ら國家の補償又は特別の保護を享けてゐるものではない、膨大な營業路線を有する國鐵、地代も税金も無償なる國鐵と、その經營の本質に於いて他の一般企業と何等異なる所がない私鐵企業とを同一基礎の上に乘せて批判出来るものではない、これは分明の筈であるが、兎もすれば一部の人士の中に同じレールの上を機關車、客貨車が走つて營業

江名鐵道の開通は何れと申しましてもお目出度い一言に盡きる

只見川電源開發以來ニワカに重要産業都市として脚光を浴びて來つた當地方に於いて先づ以つて交通機關が整備強化された事は意義深い事だ

此の鐵道の完成が當地方の發展、ひいては國富伸張への一里塚になれば幸である

而し鐵道事業は地道である、其の軌道に乗る迄は長年月日を要するものと覺悟しなければならぬ、況んや此の江名鐵道は差當り立地條件に恵れぬ丈に今後の苦心が一通りで無かるう事も想像されるのである、性急であつて



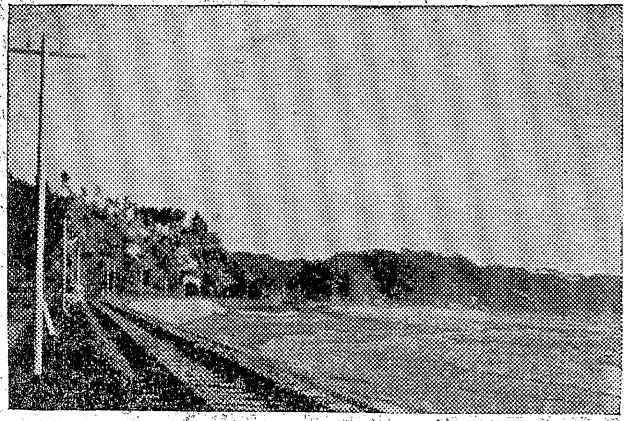
【寫眞は小名浜駅出発のチーゼルカー】

昨今御承知だろが臨港鐵道運賃が日本一高率である云々、或る途方も無い宣傳を喧嘩もなく公表するものがある、一犬吠るの通りで、さうださうだで附和雷同される、他の同業私鐵會社と比較するでもない無責任なる放言が、而らずんば爲にする者の悲劇中傷に外ならないのであるが、批判される方はたまたまものでないものである

一般物價と謂はず運賃と謂はず凡て安きに如くはないのは當然であるが、それだからと云つて凡ゆる價格の鐵道客を交通機關、特に國有鐵道と同型異質の私鐵運賃のみに加へんとするのは不條理至極の話である、一寸全國私鐵業界に類例を見ない議論が此の土地に限つて横行するのはどうしたものであろうか

私は新編創業の江名鐵道が此の種別業者流の厄難に遭難する事もなく、すくなく成長發展せられん事を冀つて止まないものである

次に鐵道の採算は素より客貨の吸收が無ければならぬ、工場も次々に誘致しなければならぬ、沿線人口は俱に増え、賣わなければならぬ、それらに誘致されるような條件の整備と誘致



【寫眞は沿線隨一の景勝永崎海岸】

### 使命貫徹に邁進

石原社長感謝の辭

およそ事業には当初から營利を主体とする事業と犠牲的立場にあつて傍系産業開發への槍石となる所謂建設事業の二種類がある、江名鐵道のごときは後者に屬する代表的なもので、譬え教壇の巨費を投じよう共万難を排して敢行することがこの事業性質のたゞ前であり、私はその性質の自覺の上江名鐵道社長に就任した幸い金融機關はじめ、地元江名町当局、同漁業家並びに一般町民その他諸君の絶大な御協力のおかげで、今日江名鐵道が完成本日芽出度く開通祝賀式を舉行することが出来たことは全く感謝に堪えない次第で茲に謹んで江名鐵道完成のため御協力下さつた諸君に對し深甚の謝意を申し述べ、今後の利用活用性におい

### 協力に感謝

金成江鉄専務

七十七小名浜支店長始め各命機關並びに江名町当局、或いは町内漁業家一般町民等諸君の御協力のおかげで、今日江名鐵道が完成本日芽出度く開通祝賀式を舉行することが出来たことは全く感謝に堪えない次第で茲に謹んで江名鐵道完成のため御協力下さつた諸君に對し深甚の謝意を申し述べ、今後の利用活用性におい

# 祝 江名鐵道開通 1月11日

<p>江名鐵道株式会社 祝 開 通 株式会社 七十七銀行小名浜支店 支店長 藤野源治</p>	<p>江名町郵便局 局長 鈴木慶助</p>	<p>江名町立中学校 校長 星春治 教務主任 江尻洋吉</p>	<p>江名町立第二小学校 校長 米本実 教務主任 芳賀岩三郎</p>	<p>江名町立第一小学校 校長 小針清吏 教務主任 比佐正吉</p>	<p>常磐炭礦株式会社 社長 大越新 磐城礦業所 所長 林田満</p>
----------------------------------------------------------------	---------------------------	-----------------------------------------	--------------------------------------------	--------------------------------------------	-------------------------------------------------

<p>株式会社 阿部喜商店 支店長 阿部松也 江名町大字折戸 電話一三八番 四三二</p>	<p>有限会社 江名造船所 社長 坂本菊治 江名町江ノ浦 電話一六二番 三三〇番</p>	<p>伊勢盛 醸造元 伊勢屋 近藤貴一</p>	<p>神白鑛泉 國元屋 ◎自家用車にて送迎サービス</p>	<p>磐城貨物自動車株式会社 江名營業所 所長 高岡友一 江名町岸浦 電話一六一番</p>	<p>外科・内科 園田醫院 江名町中之作 電話四一八番</p>	<p>土木建築請負 田村組 田村浅吉 江名町秋之作 電話二五九番</p>	<p>磐城通運株式会社 江名營業所 所長 太峯敏太郎</p>
<p>江名町料理屋組合 組合長 阿部春吉 友鳥末長 松住ハ 浜福新 榮 榮 榮 亭 館 美 好 巴 見 屋 月 船</p>	<p>江名町旅館組合 組合長 四家喜太郎 沖 北 山 大 江 新 吉 勇 見 屋 野 家 電話一〇番 電話二四〇番 電話三三〇番 電話三五五番 電話三五五番 電話三五五番 電話三五五番 電話一〇番</p>	<p>江名商和会 組合長 新妻長藏 役員 白土福松 箱崎東海 吉原興平 吉田允信 藤田留信 安山信司 作山甚平</p>					

印刷  
長瀬印刷所  
小名浜町 電219

